

WorldNote PC

ユーザーマニュアル

Version: 2.1

Release: August, 2014

Penpower Technology Ltd.
(ペンパワー・テクノロジー株式会社)
ソフトウェアの使用者に関する使用許諾契約

この使用許諾契約（以下「本契約」と呼称）に基づいて、Penpower Technology Ltd.（ペンパワー・テクノロジー株式会社）（以下「Penpower」と呼称）により、本製品のユーザー（以下「ユーザー」）に対し、本ソフトウェアのプログラム（以下「当該ソフトウェア」と呼称）を合法的に使用する許諾（ライセンス）が付与されるものとする。もしユーザーがこの契約中、いづれかの規定に合意しない場合は、当該ソフトウェアのインストール、複写、または使用を行なわないものとする。当該ソフトウェアを使用することにより、ユーザーは、この契約の規定を十分に理解するとともに、それを受け諾するものとみなされる。

第1条 知的所有権

当該ソフトウェアの商品パッケージに含まれた全ての情報、および文書、ならびに当該ソフトウェアにおける全ての知的所有権（著作権を含むが、これに限定されないものとする）は、Penpowerの財産権に属するとともに、これに関連した法律、および規定により法的に保護されるものとする。

第2条 使用許諾（ライセンス）

ユーザーは、1台のコンピューター上でのみ、当該ソフトウェアを使用することが許諾されるものとする。ユーザーは許諾されたコンピューターと違うコンピューター上では当該ソフトウェアを使用することができないものとする。

第3条 複写に対する権限

当該ソフトウェア、および当該ソフトウェアに含まれた全ての文書、

およびこれに関連した著作権は、Penpowerの財産権に属するものとする。ユーザーは、その個人的なバックアップの目的のために、当該ソフトウェアの1つの複写を作成することが認可される。その他のあらゆる複写行為等は、厳格に禁止されるものとする。

ユーザーは、当該ソフトウェアの販売、賃貸借、分解、リバース・エンジニア、複写、変換、改造、もしくは改編を行なわないものとし、また、どのような手段によつても当該ソフトウェアのソース・コードを取得しないものとする。ユーザーは、この契約に基づいて許可された目的以外の何らかの目的のために、当該ソフトウェアを使用しないものとする。

第4条 法人ユーザー

ユーザーが1つ以上のコンピューターで当該ソフトウェアのインストールや使用を行なう場合、Penpowerまたは居住国の販売元に連絡し、追加使用のための許諾ライセンスを購入するものとする。

第5条 使用者責任

ユーザーは、ユーザー自身による本契約の違反から、損害、費用、負債、法定費用等（弁護士費用に限らず）が生じた場合、Penpowerをそれらの費用すべての債務から免責し、かつ、上述の損害がPenpowerに発生した場合は、これを補償することに同意する。

第6条 保証外事項

情報の処理を行う際のパッケージソフトウェアの効果は、そのソフトウェア、およびハードウェアの環境と密接な関連性を有する。当該ソフトウェアは、Penpowerにおいて注意深く開発され、製品検査を経て発行されているが、Penpowerが、ソフトウェアとハードウェアの環境について、全ての可能な組み合わせで検査を行なうことは不可能です。この故に、Penpowerは、当該ソフトウェアのインストールや動作している間、情報が喪失したり、損害が与えられ

るリスクなどが全く存在しないということを保証することはできないものとする。ユーザーは、当該ソフトウェアの使用において、ユーザー自身がそのリスクに対しては十分に認識しなくてはならないものとする。

Penpower は、当該ソフトウェアをユーザーに提供するとともに、法律の許可する最大の範囲において、当該ソフトウェアに関するサービスへのサポートを行なうものとする。しかしながら、Penpower は、当該ソフトウェア、および当該ソフトウェアの商品パッケージに含まれた情報が、瑕疵、または欠陥を有さないことを保証はしないものとする。Penpower は、当該ソフトウェアから生じたいかなる間接的、特別、または偶発的な損失に対しても責任を負担しないものとする。この損失に関しては、当該ソフトウェアの商業上の使用から生じる利益の損失、業務に関する評価への低下、業務の停止、ハードウェアの機能不全、またはその損傷、もしくはその他の何らかの商業上の損害、または損失を含み、また、これらに限定されないものとする。

第7条 責任および損害賠償の限定

この契約に基づいて、ユーザーが何らかの理由により被ったあらゆる損害に関して、Penpower が支払うべき損害賠償の最高金額は、当該ソフトウェアに関してユーザーが既に支払いを行なった金額を上限とするものとする。

Penpower はいかなる場合であっても、Penpower がそのような損失の可能性を認識しているかどうかの如何に拘わらず、その損失の可能性に対する責任を負担しないものとする

第8条 ライセンスの2次許諾の禁止

ユーザーは、本契約に基づき、ユーザーに付与される当該ソフトウェ

アの使用許諾ライセンスを譲渡することはできない。また、第3者に2次的使用許諾（サブライセンス）を与えることもできないものとする。

第9条 司法管轄権

この契約から生じたあらゆる争訟に関して、Penpower およびユーザーは、第一審の裁判所は、Penpower の事業所在地において司法管轄権を有する裁判所であることに同意する。

第10条 雜則

この契約における何らかの規定が法的に無効であると認定される場合があっても、その無効は、その他のあらゆる規定の効力に対して影響を及ぼさないとともに、そのような規定の法的施行性に対しても影響を及ぼさないものとする。

目次

第1章 インストール、起動	1-1
1.1 インストール	1-1
1.1.1 システム要件	1-1
1.1.2 ソフトウェアのインストール	1-1
1.2 WorldNote を起動.....	1-5
1.3 MyInk 使用方法	1-6
1.3.1 バッテリーを充電	1-6
1.3.2 初めに	1-7
1.3.3 スマートフォン、タブレットに転送.....	1-8
1.3.4 USB 経由でコンピューターに転送	1-9
1.3.5 書き方のヒント.....	1-10
1.3.6 ペン芯を交換する	1-10
1.3.7 MyInk レシーバの各部説明	1-11
1.3.8 表示画面インジケータ	1-12
第2章 クイックスタート	2-1
2.1 議事録	2-1
2.2 旅の記録	2-9
第3章 WorldNote ユーザーインター フェース.....	3-1
3.1 メインメニュー	3-1
3.1.2 ツールバー	3-2
3.1.3 機能バー	3-3
3.2 ノートインターフェース	3-4
3.2.2 機能バー	3-5

3.2.3 モードの切り替え	3-6
第4章 ノートを追加.....	4-1
4.1 MyInk レシーバーからダウンロードする	4-1
4.2 ノートをインポート.....	4-2
4.3 オンラインモード.....	4-3
第5章 ノートブックの管理	5-1
5.1 ノートブックの編集.....	5-1
5.1.1 基本的な編集	5-1
5.1.2 ノートの設定	5-1
5.2 ノートのカテゴリ設定	5-2
5.2.1 ノートブックにカテゴリを設定	5-2
5.2.2 カテゴリを追加	5-3
5.2.3 カテゴリの削除	5-4
5.2.4 カテゴリ名の変更	5-4
5.3 ノートブックの並び替え	5-4
5.4 ノートブックの検索	5-5
第6章 ノートの管理.....	6-1
6.1 ノートの表示	6-1
6.1.1 ページをめくる	6-1
6.1.2 ノートの拡大 / 縮小.....	6-2
6.2 ブックマーク	6-2
6.2.1 ブックマークの設定.....	6-2
6.2.2 ブックマークモード.....	6-4
6.3 基本的な編集	6-5

第 7 章 手書きの認識.....	7-1
7.1 編集モード	7-1
7.1.1 選択エリアの切り替え.....	7-2
7.1.2 認識 / 編集ツールバー	7-2
7.2 手書きの認識タイプ	7-4
7.2.3 テーブル	7-6
7.2.4 連続線.....	7-6
7.2.5 直線化.....	7-7
7.2.6 自由描画.....	7-7
7.2.7 自動分析	7-8
7.3 手書きの手順を認識	7-8
第 8 章 手書き編集.....	8-1
8.1 テキスト編集	8-1
8.1.1 手書き編集ツールバー	8-2
8.1.2 手書きフィールド	8-2
8.1.3 テキスト編集、 アプリバー.....	8-3
8.1.4 候補エリア	8-3
8.2 筆跡の編集手順.....	8-4
8.3 筆跡を追加	8-6
第 9 章 ノートアプリケーション.....	9-1
9.1 再シーケンス	9-1
9.2 オブジェクトの整列	9-1
9.3 テキストオブジェクトの属性の編集.....	9-3
9.4 テキスト / 画像の挿入	9-4
9.4.1 画像を挿入	9-4

9.4.2 テキストの入力	9-5
第 10 章 エクスポート	10-1
10.1 ノートブックをエクスポート	10-1
10.2 ノートをエクスポート	10-3
10.3 クラウドストレージにエクスポート	10-3

WorldNote のソフトウェアのバージョンが、製品出荷後に更新される場合があります。その場合、本マニュアルに表示されているインターフェイス画面とは若干異なる表示になる場合がありますが、画面の指示にしたがって操作を進めて下さい。

第1章 インストール、起動

1.1 インストール

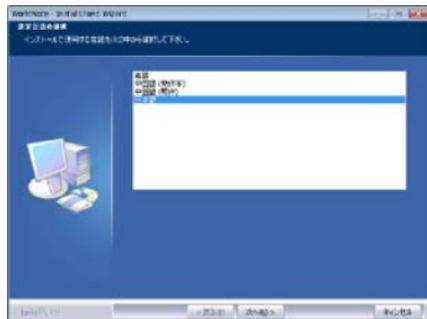
1.1.1 システム要件

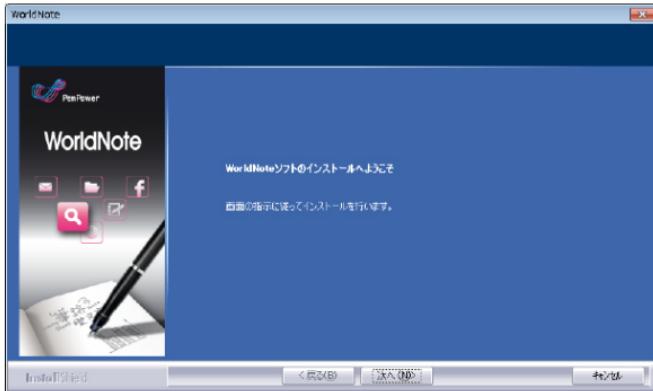
1. Windows 8.1/Windows 8(デスクトップモード)/7/Vista
2. RAM:1GB
3. 解像度 : 1024x768
4. MyInk ペンとレシーバー
5. USB ポート

1.1.2 ソフトウェアのインストール

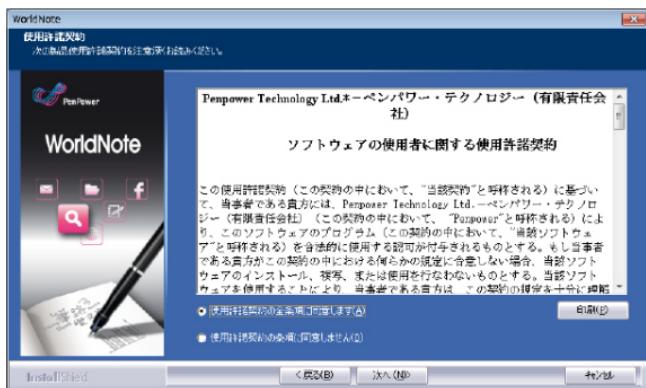
次の手順を参考にして WorldNote PC 版をインストールしてください :

WorldNote のインストール CD を CD ドライブに挿入します。すると、インストール言語の選択画面が表示されます。





「次へ」をクリックします。



「ソフトウェア使用許諾契約書を読み、「使用許諾の全条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックします。」



インストール先のフォルダを確認して、[次へ] をクリックします。



「インストール」をクリックします。



インストールを完了させるために今すぐコンピュータを再起動するか、後で再起動するか選択して、「完了」をクリックします。

1.2 WorldNote を起動

デスクトップ上の WorldNote ショートカット  をクリックするか、「スタート」/「すべてのプログラム」/「PENPOWER WorldNote」から「WorldNote」を選択して起動します。

初めて WorldNote を起動する場合、MyInk レシーバの接続確認のダイアログウィンドウが表示されます。USB ケーブルで PC と MyInk レシーバーを接続し、もし、レシーバーから筆跡をダウンロードしたい場合は、「手書きデータをインポート」をクリックし、後で筆跡をダウンロードする場合は、「キャンセル」をクリックして WorldNote のメイン画面に移動します。

注：正常に MyInk と PC が接続された場合、WorldNote 画面の右下に  アイコンが表示されます。もし、正常に接続されていない場合、 アイコンが表示されます。





1.3 MyInk 使用方法

MyInk(マイ・インク)(タイプ:INK01A/PEN01A)を使用すると、即座にデジタルデバイスに筆跡を送信して、手書認識ができます。iPad、iPhone、iPod touch と MiInk レシーバーを Bluetooth で接続して、アプリ「WorldNote」/「NoteLedge HD for PenPower」で使用するか、付属の USB ケーブルで接続してコンピュータで使用する事が出来ます。MyInk は、デジタルペンと MyInk レシーバーで構成されています。

1.3.1 バッテリーを充電

使用する前に、デジタルペンとMyInkレシーバーのバッテリーを充電してください。どちらも、完全に充電するまで約5時間掛ります。

注：書き込み時のバッテリ駆動は6-8時間です。バッテリー寿命は MyInkレシーバーの使用頻度によって変動します。

デジタルペンのバッテリーを充電する

パソコンとデジタルペンを USB ケーブルで接続します。充電中は、デジタルペンの赤色 LED が点灯します。バッテリーの充電が完了すると、LED が消えます。もし、書いている間にバッテリー残量が 20%未満になった場合、赤色の LED が 1 分間点滅します。



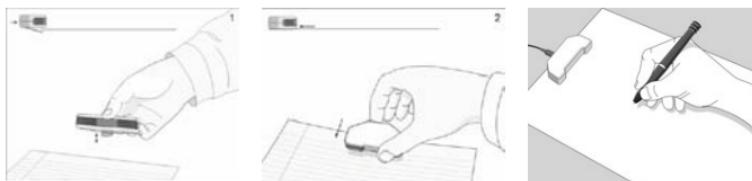
MyInk レシーバーのバッテリーを充電

パソコンと MyInk レシーバーを USB ケーブルで接続します。バッテリーの充電状態がレシーバーの画面に表示されます。充電が完了すると、バッテリーアイコンがフル充電のアイコン  に変わります。



1.3.2 初めに

1. MyInk レシーバーの多機能ボタンを 5 秒間長押して起動します。
2. MyInk レシーバーのクリップを使って、記入用紙の上部に挟みます。
3. デジタルペンで記入します。
4. レシーバーの多機能ボタンを短く押すと、筆跡が保存され、次のページを書く事が出来ます。レシーバーの画面の番号は、保存されているファイルの数を表します。



注：MyInk レシーバーの保存容量は、A4 用紙の約 100 枚分のデータ量と同等です。

1.3.3 スマートフォン、タブレットに転送

MyInk アプリをダウンロード

Bluetooth 経由で手書き文字を送信する前に、「MyInk」アプリをダウンロードする必要があります。

iPhone/iPad/ iPod touch 用のアプリ「WorldNote」 をダウンロードして、インストールしてください。もしくは、iPad 専用の「NoteLedge HD for Penpower」 をダウンロードしてインストールしてください。

iPhone/iPad/iPodTouch に Bluetooth 接続する

iPad/ iPhone/ iPod touch に Bluetooth 経由で接続すると、手書き文字をデジタル文書として保存したり、共有できます。

1. MyInk レシーバーを起動します。



2. Bluetooth ボタンを押して、レシーバーの画面に「IAP」の文字を表示します。
3. iPhone/iPad/ iPod touch の Bluetooth をオンにして、デバイスを検索します。
4. リストから「MyInk」を選択して、iPhone/iPad/iPod touch とペアリングします。
5. ペアリングに成功後、アプリに手書きの文字を送信する事が出来ます。
6. ペアリングを解除しない限り、再度ペアリングする必要は有りません。



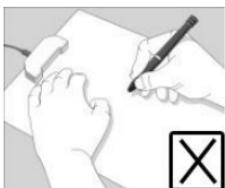
注：USB、Bluetooth 両方の方法で手書き文字を送信する事が可能ですが、Bluetooth 経由よりも、USB 接続の方が転送速度は速くなります。

1.3.4 USB 経由でコンピューターに転送

1. USBケーブルでコンピューターに接続している間、デジタルペンで書いた筆跡をレシーバーに保存する事は出来ません。しかし、WorldNote PCソフトウェアの機能で筆跡を記録することはできます。
2. CD ドライブに付属の CD を挿入して、WorldNote をコンピューターにインストールします。
3. WorldNote を起動します。
4. USB ケーブルでパソコンと MyInk レシーバーを接続してください。接続中は、レシーバーの画面に接続中のアイコンと、充電中のアイコンが表示されます。
5. WorldNote が MyInk レシーバーを検出します。接続後、レシーバーに保存されている筆跡をダウンロードすることができます。



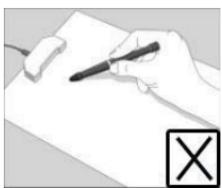
1.3.5 書き方のヒント



デジタルペンとレシーバーの間に手を置かないで下さい。



書いている手で、ペンと本体の間をさえぎらないようにして下さい。



絵筆で絵を描くようにペンを持つと、うまく認識しないことがあります。

ヒント：紙の上部中央にレシーバーをクリップで挟んでください。書いている間、MyInk レシーバーとデジタルペンの間は 2cm のスペースを空けてください。



1.3.6 ペン芯を交換する

ペン芯を交換する為には、ペンのキャップの上部にある十字形の穴を使用してペン芯を取り出します：

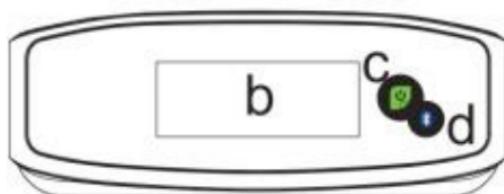
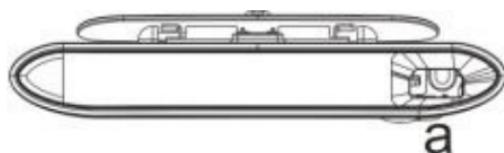


1. キャップ上部の十字形の穴にペン芯を挿入します。
2. ペン芯が十字形の穴にはまるまで、ペンキャップをペン芯に押してください。

3. キャップを引き抜いてペン芯を取り出します。
4. ペンに新しいペン芯を挿入し、新しいペンの芯が定位置にしっかりと収まるまで、ゆっくりと指で押し込んで取り付けます。



1.3.7 MyInk レシーバの各部説明



A. Mini USB ポート：レシーバーのバッテリーの充電や、USB 接続で PC に筆跡データを送信します。

B. 表示画面：動作状態、バッテリー状態、保存されたファイルの数などが表示されます。

C. 多機能ボタン：長押し (5 秒) - 電源オン、短く押す - 筆跡を保存。

D. Bluetooth ボタン：iPhone/iPad/iPod touch との Bluetooth 接続をオン / オフします。

E. クリップ：MyInk レシーバーを紙に固定します。

1.3.8 表示画面インジケータ

	MyInk レシーバーが、デバイスに接続		筆跡の記録中
	保存メモリが一杯		保存ファイル数
	ペンのバッテリー残量：少		Bluetooth 通信：オン
	レシーバーのバッテリー残量		iPhone/iPad/iPod touch への接続待機中

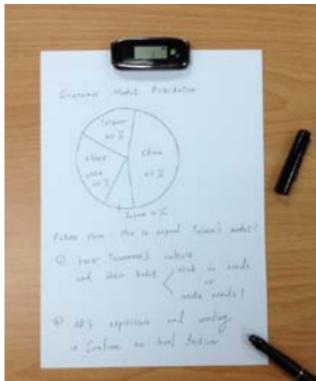
第2章 クイックスタート

2.1 議事録

会議に出席して、会議の内容を周りに周知するためにノートをドキュメントに変換する必要がある場合、下記に従って行います。

最初に、ノートのページ、または、1枚の紙の上部に MyInk のレシーバーを固定してください。MyInk レシーバーの電源ボタンを長押して起動したあと、専用のペンで会議中の重要な議論を書き留めます。1ページを書き終えた後、MyInk レシーバーの電源ボタンを短く押してノートを忘れずに保存します。

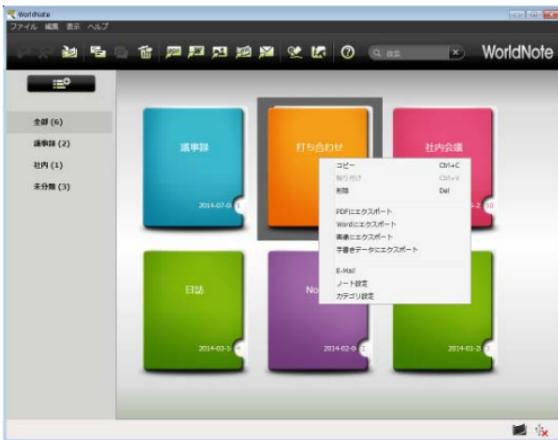
詳細については、1.3.2 章の「スタート」をご参照ください。



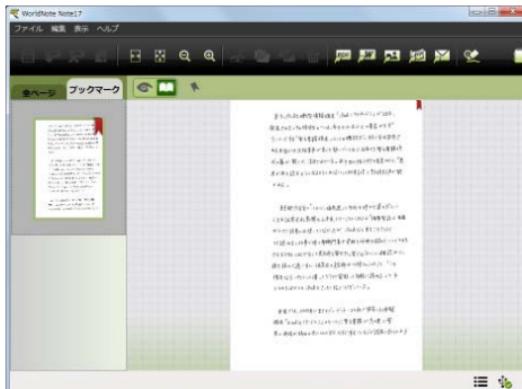
ノートを書き終えた後、コンピュータの WorldNote ソフトウェアを起動して、USB ケーブル経由で MyInk レシーバーをコンピュータに接続します。機能バーの  をクリックするか、「ファイル」/「ノートをインポート」を選択してレシーバーからデータをインポートします。



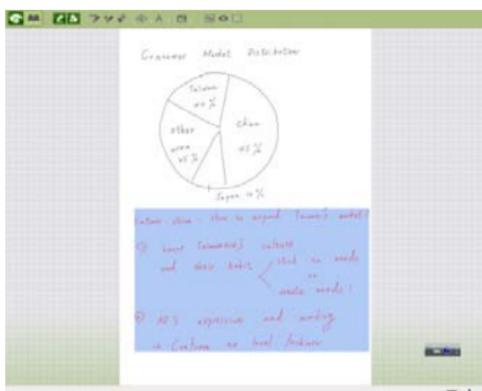
WorldNote のノートの一覧では、インポートした手書きのノートブックが表示されます。ノートブックを選択し、右クリックして、「ノート設定」をクリックするか、機能バーの ボタンをクリックすると、ノートブックの名前、スタイル、キーワード、ノート説明を編集することができます。また、右クリックして「カテゴリー設定」を選択してノートブックのカテゴリーを設定できます。



ノートブックをダブルクリックして、表示モード でページを表示します。ノートブックに複数のページが有る場合は、画面左側の一覧からページをクリックすると表示する事が出来ます。もし、重要なページが有る場合は、ページを選択してノートページ上部の をクリックすると、ページをブックマークする事が出来ます。ページリストの上部の「ブックマーク」の文字をクリックする事ですぐにブックマークしたページを表示できます。

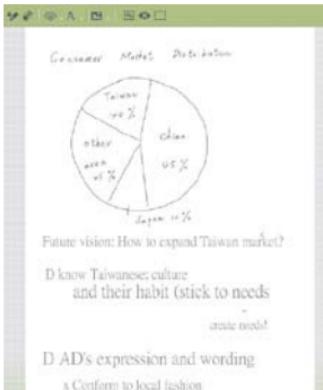


もし、メモをテキストに変換して他の人とデータを共有する場合、をクリックして表示モード から編集モード に切り替えます。編集モードでは、プリセットのモード「混合物（ストローク、オブジェクト）」の選択が選択されます。次に、認識したい文字をマウスでドラッグして選択します。

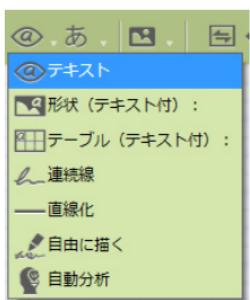




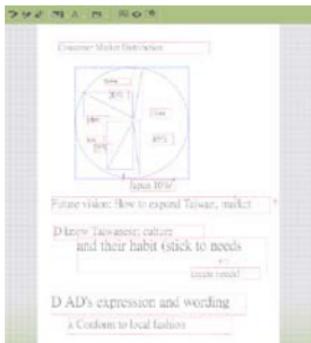
もし、筆跡の認識タイプがテキストの場合、**A** の文字をクリックして認識言語を切り替えるか、白い三角のアイコンをクリックして、ドロップダウンメニューから認識言語を選択してください。次に**@** をクリックすると、システムが自動的に筆跡を認識します。



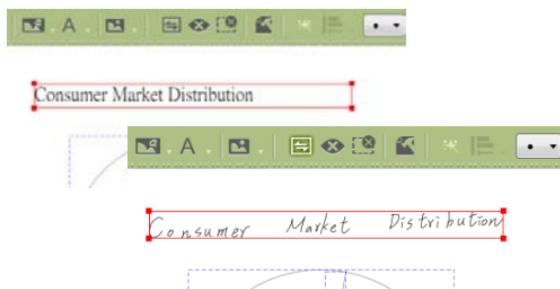
また、ボタンの白い三角形をクリックしてドロップダウンメニューを開いて、「形状」、「表」、「ポリライン（折れ線）」、「直線化」、「自由描画」、「自動分析」から筆跡の認識の種類を選択できます。



認識した手書きデータは、オブジェクトとして定義されます。
□をクリックすると、システムが認識しているすべてのオブジェクトの領域が表示されます。

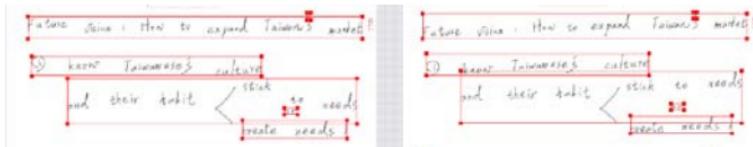


もし、認識結果が不十分、または、結果に間違いがある場合は、認識したテキストのオブジェクトをダブルクリックして、テキストを編集することが出来ます。認識されたオブジェクトと筆跡を比較する場合は、オブジェクトを選択して □ ボタンをクリックすると、手書きの筆跡とテキストとが入れ替わりに表示されます。もし、認識した結果を取り消したい場合は、□ をクリックすると、認識されたオブジェクトが削除され、認識前の筆跡に変わります。

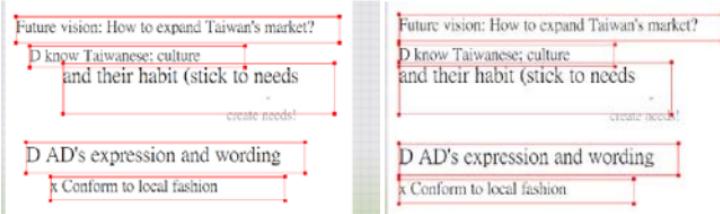




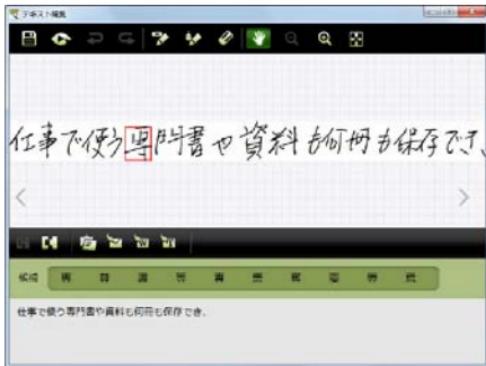
手書きの筆跡が斜めに傾いていたり、文字のサイズが均一でない場合は、をクリックすることで、これらの問題を解消することができます。



さらに、の白い三角形のボタンをクリックして、配置のタイプを選択することで、筆跡のセクションを整列させて、よりまとまったノートに見せることができます。

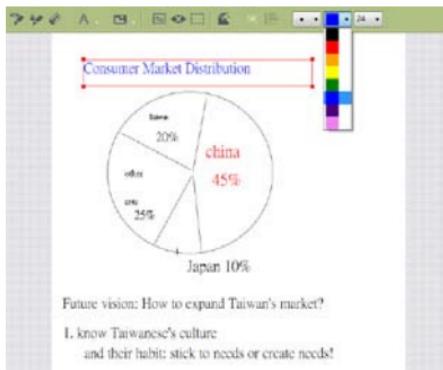


もし筆跡を編集する場合、テキストオブジェクトを選択し、テキスト編集ボタン  をクリックします。テキスト編集画面が表示されたら、MyInk やマウスを使用して筆跡を編集したり、文字の結合  または、分割  、認識候補から文字を選択できます。機能の詳細については、8.1 章「テキストセクションエディタ画面」をご参照ください。

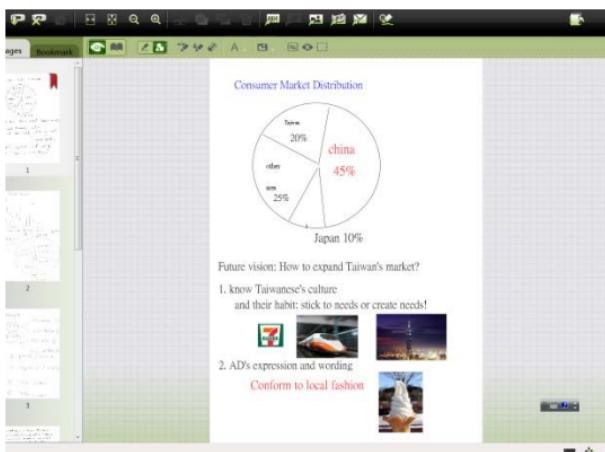


編集が完了したら、 ボタンを押して編集内容を保存します。また、筆跡フィールドの左右の矢印は、編集の効率化を上げるために、簡単に認識前、認識後のテキストオブジェクトを切り替えることができます。

重要なポイントを強調する為、テキストオブジェクトを選択して、フォントカラーやフォントサイズを変更することができます。



画像を追加することで、ノートの内容をよりビジュアルにすることもできます。 ボタンをクリックし、挿入する画像を選択してノートページに画像を挿入します。また、ボタンの白い三角形をクリックし、「テキストを挿入」を選択、マウスでドラッグしてテキストボックスに文字を入力できます。



ノートを編集した後、すべてのページもしくは、選択した特定のページを他の人に E メール経由で送信できます。

ページを選択した後に、 ボタンをクリックするか、「ファイル」/「E メール」を選択します。エクスポート形式を PDF、Word、画像ファイル、データファイルから選択します。自動的にメールソフトウェアが起動して、メール作成画面に添付ファイルが追加されます。その後、ファイルを送信したい相手のアドレス等を入力して、送信する事が出来ます。

2.2 旅の記録

旅をしているとき、写真を撮影したりして思い出を記録する時があると思います。その場合、珍しい体験、感動を受けたその瞬間を書き留めて、ブログや SNS を通じて友達や家族に共有できます。

はじめに、ノートのページ、または、用紙の上部に MyInk のレシーバーを固定します。MyInk レシーバーの電源ボタンを長押して起動したあと、専用のペンで体験を書き留めます。

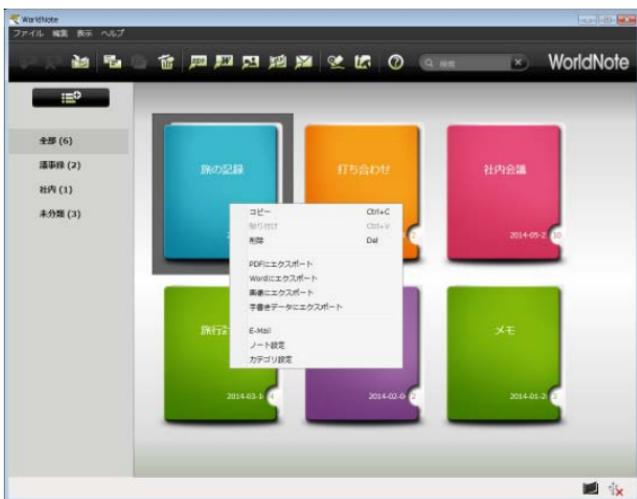
1 ページを書き終えた後、MyInk レシーバーの電源ボタンを短く押してノートを忘れずに保存します。

詳細については、1.3.2 章の「スタート」をご参照ください。



ノートを書き終わった後、コンピュータのWorldNote ソフトウェアを起動して、USB ケーブル経由で MyInk レシーバーをコンピュータに接続してください。機能バーの をクリックするか、「ファイル」/「ノートをインポート」を選択してレシーバーからデータをインポートします。

WorldNote のノートの一覧では、インポートした筆跡のノートブックが表示されます。ノートブックを選択し、右クリックして「ノート設定」をクリックするか、機能バーの ボタンをクリックすると、ノートブックの名前、スタイル、キーワード、ノート説明を編集することができます。また、右クリックして「カテゴリー設定」を選択してノートブックのカテゴリーを設定できます。

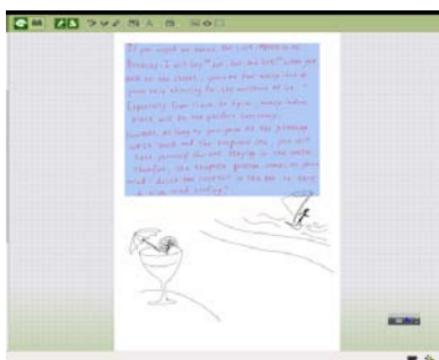


ノートブックをダブルクリックして、表示モード でページを表示します。ノートブックに複数のページが有る場合は、画面

左側の一覧からページをクリックすると表示する事が出来ます。

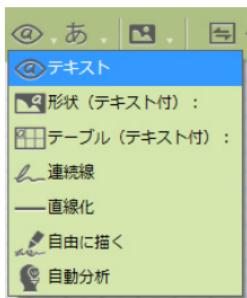


もし、ブログやSNSに投稿して他の人と共有するために、旅行記の内容を変換する必要がある場合は、をクリックして表示モードから編集モードに切り替えます。編集モードでは、プリセットのモード「混合物（ストローク、オブジェクト）の選択」が選択されます。次に、認識したい文字をマウスでドラッグして選択します。





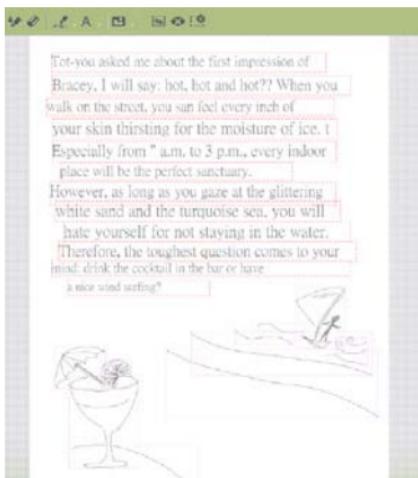
もし筆跡の認識タイプがテキストの場合、**A** の文字をクリックして認識言語を切り替えるか、アイコン上の白い小さな逆三角形をクリックして、ドロップダウンメニューから認識言語を選択してください。次に、**@** クリックすると、システムが自動的に手書き文字を認識します。



ほかにも、白い三角形をクリックした時に表示されるドロップダウンメニューには、形状、表、ポリライン（折れ線）、直線化、自由描画、自動解析が選択できます。もし、ノートにイラストが含まれている場合、定義が認識されるように「形状」を選択します。イラストが複雑すぎる場合は、「自由描画」の定義を選択することをお勧めします。

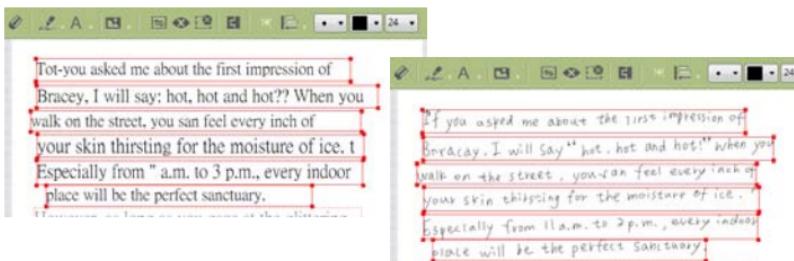
認識した手書きデータは、オブジェクトとして定義されます。

 をクリックすると、システムが認識しているすべてのオブジェクトの領域が表示されます。

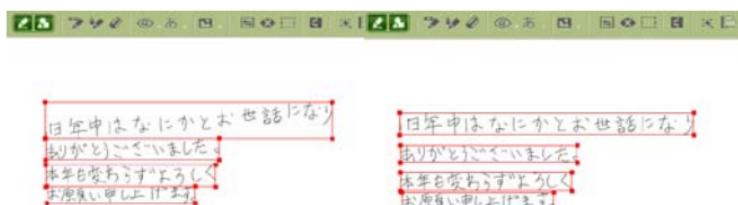




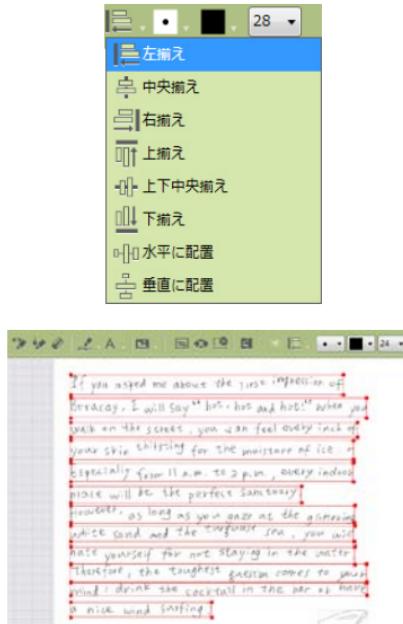
もし、認識結果が十分でないか、テキストに間違いがある場合、テキストオブジェクトをダブルクリックして、テキストボックス内のテキストを直接編集してください。もし、認識されたオブジェクトと、手書きの内容を比較する場合は、オブジェクトを選択して、 ボタンをクリックしてください。認識された結果をキャンセルする場合は、 ボタンをクリックします。すると、認識されたオブジェクトが削除され、手書きの表示に変わります。



手書きの行が斜めになった場合、または、文字のサイズが均一でない場合、 をクリックすることで、問題を解決することができます。



さらに、の白い三角形のボタンをクリックして、配置のタイプを選択することで、筆跡のセクションを整列させて、よりまとまつたノートに見せることができます。

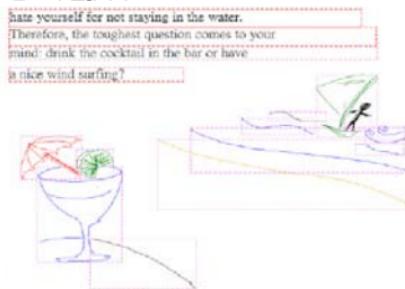


認識したテキストの編集をより正確に行う必要がある場合は、編集するテキストオブジェクトを選択し、ボタンをクリックして、編集を行います。

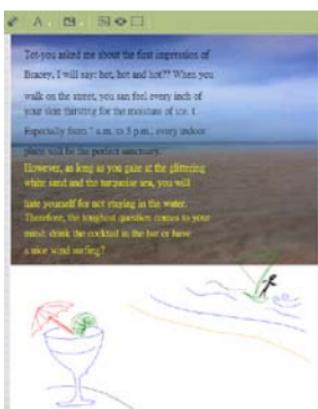
機能の詳細な説明については、8.1章「テキストセクションエディタ画面」をご参照ください。



テキストオブジェクトの色を変えるだけでなく、イラストに色を付けることができます。はじめに、それぞれの図形にオブジェクトを定義します。次に特定のオブジェクトを選択して、「セクションカラー」から色を選択します。



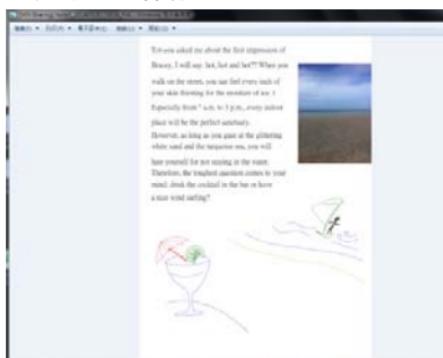
ノートに画像を挿入する場合、をクリックした後、挿入する画像を選択します。オブジェクトの表示順を変更する場合は、オブジェクトを右クリックして、「順番」/「最下層に移動」を選択します。



編集した後に、ノートまたは、選択した特定のページを Word にエクスポートして、テキストをブログや、SNS に貼り付けることができます。

エクスポートするノートもしくは、ページを選択し、ツールバー メニューから  をクリックするか、「ファイル」/「エクスポート」/「Word ファイルにエクスポート」を選択します。その後、「参照」ボタンをクリックしてエクスポート先を選択し、ファイル名を編集します。エクスポート完了後、システムが自動的に Word のソフトウェアを起動、エクスポートの結果が表示されます。その後、Word のテキストをコピーして、ブログや SNS 上に貼り付けることができます。

もし、イラストをインターネット上で共有したい場合、図面が含まれているページを選択し、 をクリックするか、もしくは、「ファイル」/「エクスポート」/「画像にエクスポート」を選択します。その後、「参照」ボタンをクリックしてエクスポート先を選択、ファイル名を編集します。エクスポート処理後、保存先にエクスポートされた JPEG ファイルが保存されます。



第3章 WorldNote ユーザーインター フェース

3.1 メインメニュー



3.1.1 メインメニュー

1 ツールバー	ファイル、編集、表示、ヘルプ
2 機能バー	すぐに機能を実行できます。
3 ノートブックリスト	すべてのノートブックが表示されます。 すべてのカテゴリ名が表示されます。
4 ノートブックカテゴリ	リスト上部の「+」をクリックすると、新しいカテゴリが追加されます。
5 画面モード	 はノート・モードを意味します。  はカテゴリモードを意味します。  は表示モードを意味します。
6 レシーバー接続状況	は WorldNote とレシーバーが接続されていることを意味します。 は WorldNote とレシーバーが接続されていないことを意味します。

3.1.2 ツールバー

ファイル	MyInk のレシーバーから手書きデータをインポート、新しいページを作成、データベースの保存、インポート、エクスポート (PDF/Word/画像 / データファイルなど)、レシーバーに保存されている手書きデータの削除、電子メールで送信、印刷、設定 (認識言語 / 表示)、プログラムの終了が出来ます。
編集	切り取り、コピー、貼り付け、削除、すべてを選択などの基本的な編集機能や、モードの切り替え：表示モード / 編集モード、カテゴリ設定が出来ます。
表示	ページの移動、ページの拡大 / 縮小、ノートの並び替えが出来ます。
ヘルプ	WorldNote のユーザーマニュアル、WorldNote のバージョン情報が確認できます。

3.1.3 機能バー

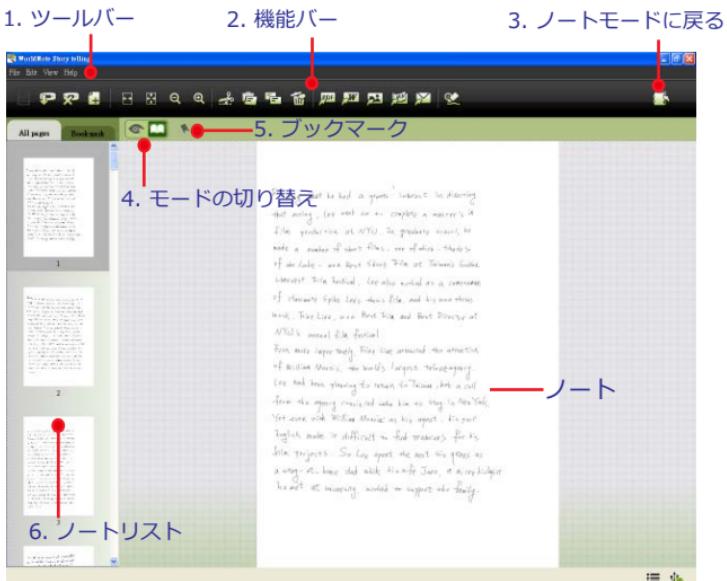


1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

1	手書きデータのインポート	MyInk のレシーバーから手書きデータをインポートします。
2	手書きデータの削除	MyInk のレシーバーに保存されている手書きデータをすべて削除します。
3	ノートのインポート	WorldNote フォーマット (*.wnxf) のノートのデータをインポートします。
4	コピー	ノートをコピーします。
5	貼り付け	ノートを貼り付けます。
6	削除	ノートを削除します。
7	PDF にエクスポート	ノートブックを PDF ファイルにエクスポートします。
8	Word にエクスポート	ノートブックを Word ファイルにエクスポートします。
9	画像にエクスポート	ノートブックを画像ファイル (.jpg) にエクスポートします。
10	手書きデータにエクスポート	ノートブックを .wnxf 形式のデータファイルにエクスポートします。
11	E-Mail	ノートブックをメールに添付します。
12	オンラインモード	MyInk を接続して、リアルタイムにノートを書き込み保存できます。
13	ノート設定	ノートブックの名前、キーワード、説明、カラーを設定できます。
14	ヘルプ	WorldNote ユーザーマニュアルを表示します。
15	検索	ノートブックの、「ノートブック名」、「キーワード」、「内容」、「ブックマーク名」、ノートブック内のテキストから検索することができます。

3.2 ノートインターフェース

3.2.1 ノート画面の説明



1 ツールバー	ファイル、編集、表示、ヘルプ
2 機能バー	すぐに機能を実行できます。
3 ノートモードに戻る	メインメニューに戻ります。
4 モードの切り替え	編集モード、表示モードに切り替えます。
5 ブックマーク	選択したページをブックマークを追加するには、このボタンをクリックします。
6 ノートリスト	ページが表示、選択できます。 表示モード：「全てのページ」、「ブックマークモード」

3.2.2 機能バー



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18

1 保存	編集したノートを保存します。
2 手書きデータをインポート	MyInk レシーバーから手書きデータをインポートします。
3 手書きデータの削除	MyInk のレシーバーに保存されている手書きデータをすべて削除します。
4 新しいページを作成	新しいページを挿入します。
5 幅に合わせる	ノートの幅に合うように調整します。
6 画面に合わせる	ノート全体が表示されるように調整します。
7 縮小	ノートの表示を縮小します。
8 拡大	ノートの表示を拡大します。
9 切り取り	選択したノートを切り取ります。
10 貼り付け	ノートを貼り付けます。
11 コピー	選択したノートをコピーします。
12 削除	選択したノートを削除します。
13 PDF にエクスポート	選択したノートを PDF ファイルにエクスポートします。
14 Word にエクスポート	選択したノートを Word ファイルにエクスポートします。
15 画像にエクスポート	選択したノートを画像ファイル (.jpg) にエクスポートします。
16 手書きデータにエクスポート	選択したノートを .wnxf 形式のデータファイルにエクスポートします。
17 E-Mail	ノートブックをメールに添付します。
18 オンラインモード	MyInk レシーバーを接続して、リアルタイムにノートを書き込み、保存できます。

3.2.3 モードの切り替え

-  表示モード：編集、認識を表示
-  編集モード：認識のために手書きの筆跡を選択 / 編集が出来ます。また、ノートを編集することもできます。

第4章 ノートを追加

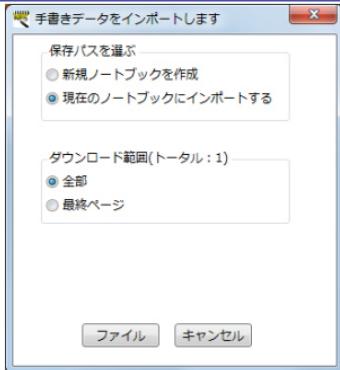
MyInk レシーバーから手書きデータをダウンロードしたり、他の端末から WorldNote ファイルをインポートまたはリアルタイムにノートを書くことでノートを追加することができます。

4.1 MyInk レシーバーからダウンロードする

1. USB ケーブルを使用して MyInk レシーバーを PC に接続します。正常に接続されている場合、画面右下に  が表示されます。
2. ノートブックリストからノートブックを選択します。

ノート : 筆跡をダウンロードする前に、ノートブックを選択することで、保存先を選択できます。ノートブックを選択していない場合、新しいノートブックに保存されます。

3. 機能バーの  をクリックするか、「ファイル」 / 「ノートのインポート」を選択します。
4. 「新規ノートブックを作成」または、「現在のノートブックにインポートする」を選択して保存先を設定し、ダウンロードするデータを「全部」または、「最終ページ」から選択します。



5. 「OK」をクリックすると、インポートが開始してノートを確認することができます。

ヒント : MyInk レシーバの筆跡データを消去するには、 をクリックするか、「ファイル」 / 「手書きデータのクリア」を選択します。

4.2 ノートをインポート

WorldNote ソフトウェアに別のプラットフォーム（例：スマートフォン、タブレット、ウェブ）から WorldNote (*.wnxf) 形式のファイルをインポートする必要がある場合、はじめにファイルが保存または、ダウンロードされている事を確認してから次の手順を行ってください。

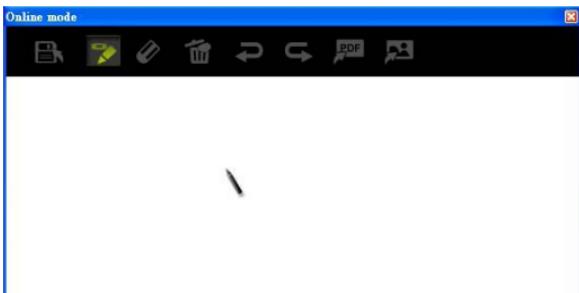
1. 機能バーの  をクリックするか、「ファイル」 / 「ノートをインポート」を選択します。

2. インポートするファイルを選択します。 (*.wnxf 形式)
3. 「OK」をクリックすると、新しいノートブックとしてインポートされたファイルが表示されます。

4.3 オンラインモード

MyInk を接続して、リアルタイムに書き込んで、保存、PDF ファイルや画像形式のファイルとしてノートをエクスポートすることができます。

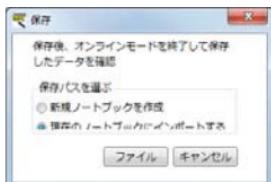
1. MyInk レシーバーと PC を USB ケーブルを使用して接続します。
接続されている場合、画面の右下に  が表示されます。
2. ノートブックリストからノートブックを選択します。
3.  アイコンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



4. ペンモード  では、MyInk を使用してノートなどに文字を書くと、リアルタイムで画面上に書いたものが表示されます。



5. 書いたノートが気に入らない場合は、 をクリックしてストロークを削除したり、 をクリックして筆跡をすべて削除することができます。また、 をクリックして最後のストロークを取り消すか、 をクリックして最後のストロークをやり直すをクリックすることができます。
6. 「PDF ファイルにエクスポート」または、 「画像にエクスポート」をクリックして手書データをエクスポートすることができます。
7. をクリックして、筆跡を保存します。
8. 「新規ノートブックを作成」または、「現在のノートブックに インポートする」を選択して保存先を設定します。



9. をクリックしてカテゴリーモードに戻ります。

第5章 ノートブックの管理

5.1 ノートブックの編集

5.1.1 基本的な編集

1. ノートブックリストから編集するノートブックを選択します。

ヒント：「編集」 / 「すべて選択」をクリックすると、すべてのノートブックを選択出来ます。

2. ノートブックを編集する場合、以下の方法を行ってください：

- 選択したノートブックをコピーするには、機能バーの  をクリックするか、「編集」 / 「コピー」または、ノートブック上で右クリックして「コピー」を選択します。
- 選択したノートブックを貼り付けるには、機能バーの  をクリックするか、「編集」 / 「貼り付け」または、ノートブック上で右クリックして「貼り付け」を選択します。
- 選択したノートブックを削除するには、機能バーの  をクリックするか、「編集」 / 「削除」または、ノートブック上で右クリックして「削除」を選択します。

5.1.2 ノートの設定

ノートブックを選択して、「編集」 / 「ノート設定」を選択するか、ノートブックを右クリックし「ノート設定」を選択します。ノート設定ではノートブックの名前、スタイル、キーワード、説明を設定できます。

- **名前**：把握しやすいようにノートブックの名前を入力します。
- **スタイル**：ノートブックのカバーの色を選択します。[アップルグリーン]、[オーシャンブルー]、[カリフォルニアオレンジ]、[バイオレットパープル]、[ルビーレッド] が選択できます。
- **キーワード**：ノートブック用のキーワードを設定することで、後でノートブックを検索することができます。ノートブックの検索方法は 5.4[ノートブックの検索] を参照してください。
- **説明**：ノートの説明を入力することで、将来的にノートブックの内容を確認するのに役立ちます。
- **作成日**：ノートが作成された日付が表示されます。
- **編集日**：最後に編集した日付が表示されます。

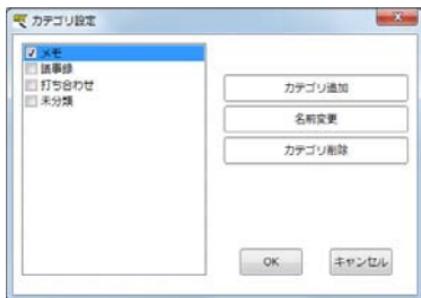
5.2 ノートのカテゴリ設定

5.2.1 ノートブックにカテゴリを設定

ノートブックのカテゴリを設定したい場合、下記の手順を実施してください：

1. 1 つ、または複数のノートブックを選択します。
2. 「編集」/「カテゴリ設定」を選択するか、右クリックして「カテゴリ設定を」を選択します。

- 選択したノートの内容に合ったカテゴリにチェックし、[OK] をクリックします。カテゴリリストのカテゴリ名をクリックすると、設定したノートを見つけることができます。



注：各ノート、1 つのカテゴリに分類することができます。

5.2.2 カテゴリを追加

カテゴリを追加したい場合、下記の方法があります：

- カテゴリリスト上の  をクリックします。その後、[OK] をクリックすると、カテゴリリストに追加されたカテゴリが表示されます。
- ノートブックを選択して、「編集」 / 「カテゴリ設定」を選択してカテゴリ設定画面を表示します。「カテゴリの追加」をクリックして、カテゴリ名を入力します。その後、「OK」をクリックすると、カテゴリリストに追加されたカテゴリが表示されます。



5.2.3 カテゴリの削除

カテゴリを削除する場合、次の方法があります：

1. ノートブックを選択し、「編集」 / 「カテゴリ設定」を選択してカテゴリ設定画面を表示します。次に削除するカテゴリを選択して「カテゴリの削除」をクリックするとカテゴリが削除されます。
2. カテゴリリストの削除したいカテゴリを右クリックして「カテゴリ削除」を選択します。

5.2.4 カテゴリ名の変更

1. ノートブックを選択して、「編集」 / 「カテゴリ設定」を選択してカテゴリ設定画面を表示します。変更するカテゴリを選択して、「名前の変更」をクリックして新しいカテゴリ名を入力します。
2. カテゴリリストから名前を変更したいカテゴリを右クリックし「名前変更」を選択します。新しいカテゴリ名を入力して、「OK」をクリックすると、新しい名前に変更されます。

5.3 ノートブックの並び替え

ノートブックのソート順を変更する場合、「表示」 / 「並べ替え」から行えます。WorldNote では、6 つの並べ替えの選択肢が用意されています：

- ノート名 (A-Z): ノートブックを「A」から「Z」のアルファベット順に並び替えます。
- ノート名 (Z-A): ノートブックを「Z」から「A」のアルファベット順に並び替えます。
- 編集日時 (▲): ノートブックを編集日時の昇順に並び替えます。
- 編集日時 (▼): ノートブックを編集日時の降順に並び替えます。
- 作成日時 (▲): ノートブックを作成日時の昇順に並び替えます。
- 作成日時 (▼): ノートブックを作成日時の降順に並び替えます。

5.4 ノートブックの検索

 に検索する文字を入力してノートブックを検索することができます :

- ノートブックの「名前」、「キーワード」、「説明」
- 認識したテキスト
- 追加したテキストボックスの文字
- ブックマーク名

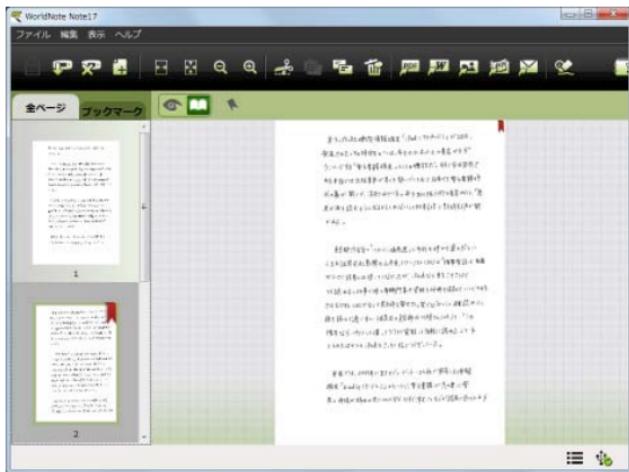
また、カテゴリ別でノートを検索することができます。検索したいノートブックがあるカテゴリ名をカテゴリリスト上からクリックします。その後、検索文字を入力します。

検索フィールドに文字を入力すると、検索結果がすぐにメイン画面に表示されます。  をクリックすると、検索結果を閉じます。

第6章 ノートの管理

6.1 ノートの表示

読みたいノートをダブルクリックすると、ノートを見ることがで
きます。ノートはビューモード  で表示されます。



6.1.1 ページをめくる

キーボードの上下矢印キーを使って、ページをめくるか、
「表示」 / 「移動」から、「前のページ」と「次のページ」をクリッ
クしてページを切り替えます。左のコンテンツリストからページを
クリックして切り替えることもできます。

6.1.2 ノートの拡大 / 縮小

「表示」/「ズーム」から、「拡大」または「縮小」、「ページに合わせる」、「幅に合わせる」を選びノートページを調整します。または、機能バーのボタンをクリックして調整します。



幅に合わせる：ページの幅に収まるように調整します。



ページに合わせる：ページ全体に収まるように調整します。



縮小：ページを縮小します。



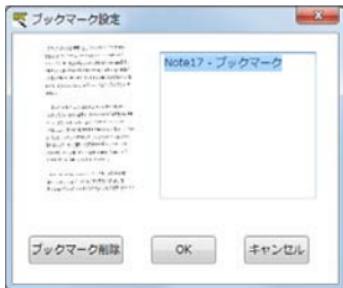
拡大：ページを拡大します。

6.2 ブックマーク

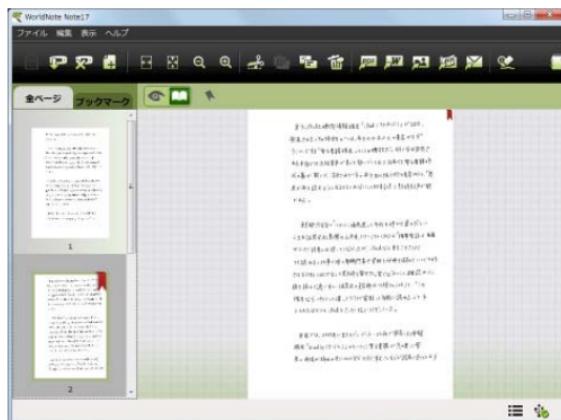
6.2.1 ブックマークの設定

ノートページにブックマークを挿入すると、すぐにブックマークモードした特定のページを見つけることができます。以下の手順で、ブックマークを設定します：

1. ノートリストからノートページを選択します。
2. ノートページ上部の  をクリックしてブックマーク設定画面を表示します。



3. ブックマーク名を入力して「OK」をクリックします。
4. ノートページの右上に赤色のアイコンが表示された場合、ブックマークが設定されていることを意味します。



ヒント：ノートページのブックマークを削除する場合は、 をクリックしてブックマークの設定画面を表示した後、「ブックマーク削除」をクリックしてください。

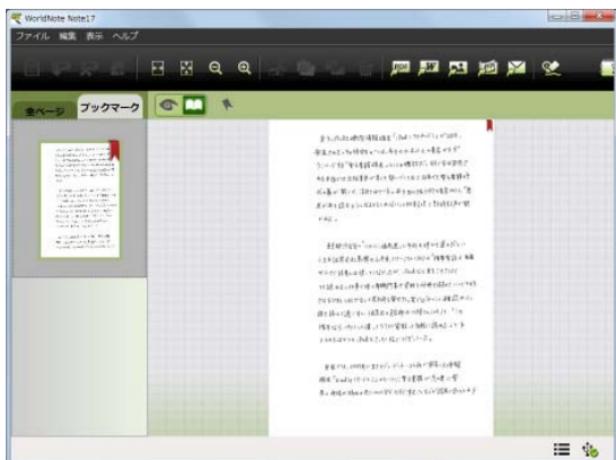
6.2.2 ブックマークモード

ノートページでブックマークを設定した後、ブックマークしたページをすぐに表示する場合は、以下の手順を実施してください：

1. ノートブックをダブルクリックして、ノートを表示します。(ノートを開いたとき「全ページ」のモードで表示されます。)



2. **「ブックマーク」** をクリックして表示を「全ページ」から「ブックマーク」に切り替えます。ブックマークモードに切り替わった場合、ボタンが **「ブックマーク」** に変わります。



6.3 基本的な編集

ノートを編集するには、ノートページを選択してから、以下の項目を実施してください：

- 選択したノートページを切り取るには、機能バーの  をクリックするか、「編集」/「切り取る」または、ノートページ上で右クリックして「切り取る」を選択します。
- 選択したノートページをコピーするには、機能バーの  をクリックするか、「編集」/「コピー」または、ノートページ上で右クリックして「コピー」を選択します。
- 選択したノートページを貼り付けるには、機能バーの  をクリックするか、「編集」/「貼り付け」または、ノートページ上で右クリックして「貼り付け」を選択します。

ヒント：他のノートブックにページを移動するには、**コピー&ペースト機能**を使用します。

- 選択したノートページを削除するには、機能バーの  をクリックするか、「編集」/「削除」または、ノートページ上で右クリックして「削除」を選択します。
- 新しいノートページを追加するには、機能バーの  をクリックするか、「ファイル」/「新規ノート」/「新規ページを作成」を選択します。

注：新規で追加されたページは、選択したページの後ろに挿入されます。

- ページ一覧のノートページをドラッグすることで、ノートブックのページの順番を変更することができます。

第7章 手書きの認識

7.1 編集モード

WorldNote は筆跡を認識し、簡単にテキストに変換することができる認識機能が用意されています。認識機能を使用するには、 をクリックして、編集モード  に切り替えます。





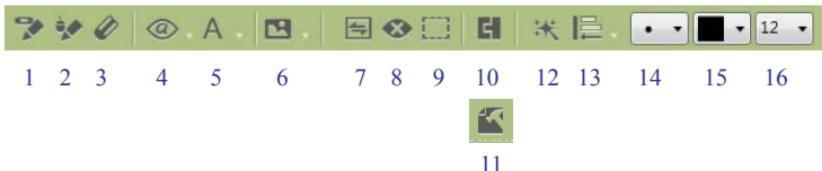
7.1.1 選択エリアの切り替え

編集モードの上部で、すでに「混合選択」モード  になつているのを確認することができます。認識されていないストロークと認識されたオブジェクトを区別するために、3種類の選択モード用意されています：「混合物の選択」、「ストロークを選択」、「オブジェクトを選択」

- ミックス ：このモードは「ストロークを選択」、「オブジェクトを選択」2つのモードが含まれています。このモードでは、認識されていないストロークをマウスでドラッグして選択します。また、認識したオブジェクトに対して、「Ctrl」キーを押しながらクリックするか、マウスを使用してドラッグして選択します。
- ストローク選択 ：このモードでは、認識されたオブジェクトを選択することはできませんが、認識処理を行うために認識されていないストロークをマウスでドラッグして選択することができます。
- オブジェクト選択 ：このモードでは、マウスでドラッグして認識されたオブジェクトを選択するか、クリックまたは、「Ctrl」キーを押しながらクリックして選択します。未認識のストロークは選択することはできません。

7.1.2 認識 / 編集ツールバー

選択モードを切り替えた場合、表示されるツールバーも異なるものになります。「混合選択」モードの場合、すべての機能が表示されます。



1	MyInk で書き込み	MyInk を使用して筆跡を追加します。
2	マウスで書き込み	マウスを使用して筆跡を追加します。
3	消しゴム	手書きの筆跡を消します (ストローク単位で削除)
4	ストローク定義設定	ドロップダウンメニューを開いて認識の定義を選択します。 認識を開始するためにアイコンをクリックします。 「ストローク」と「混合」モードのみ選択できます。
5	認識言語	ドロップダウンメニューを開くか、アイコンをクリックして認識言語を選択します。
6	画像 / テキストの挿入	ドロップダウンメニューを開いて画像やテキストを挿入します。
7	手書きノートと認識結果を切り替え	ボタンをクリックすると、認識されていない手書きノートと認識結果の表示を切り替えます。
8	ストローク定義のクリア	オブジェクトの定義をクリアします。 認識されたオブジェクトは、認識前の筆跡に変わります。
9	すべてのストローク定義の表示	認識されたすべてのオブジェクトのボックスの色を表示します。
10	セクションの結合	複数のオブジェクトを 1 オブジェクトに結合します。 このボタンは、オブジェクトを 3 つ以上の選択した場合にのみ表示されます。
11	ストロークエディタと再認識	手書き文字を編集するための、テキスト編集エディタ画面が表示されます。 1 つのテキストオブジェクトを選択すると、「セクションの結合」ボタンと同じ位置にこのボタンが表示されます。
12	再シーケンス	手書きストロークと行を整えます
13	オブジェクトの整列	ドロップダウンメニューを開いて、オブジェクトの整列方法を選択します。



14	ストロークサイズ	手書きのストロークの太さを変更します
15	セクションカラー	認識されてない筆跡や、認識したオブジェクトの色を変更します。
16	フォントサイズ	認識したテキストオブジェクトのフォントサイズを変更します

注：

1. 「手書きノートと認識結果を切り替え」、「ストローク定義のクリア」、「すべてのストローク定義の表示」は「オブジェクト選択モード」、「混合物選択モード」で使用することができます。
2. オブジェクトを選択すると、「ストロークサイズ」、「セクションカラー」、「フォントサイズ」が使用できます。

7.2 手書きの認識タイプ[®]

筆跡を認識する前に、手書きの認識タイプを定義することができます。認識 / 編集ツールバー上の ボタンの白い三角形をクリックしてドロップダウンメニューを開き、7つのタイプから選択します。

7.2.1 テキスト

筆跡を選択して、「ストローク定義設定」ボタンのドロップダウンメニューから を選択します。すると、選択された筆跡をテキストとして認識します。



7.2.2 形状

筆跡を選択し、「ストローク定義設定」ボタンのドロップダウンメニューから 形状 (テキスト付) を選択します。すると、選択された筆跡を図形として認識します。また、図形内のテキストも認識することが出来ます。





7.2.3 テーブル

筆跡を選択して、「ストローク定義設定」ボタンのドロップダウンメニューから **■ テーブル (テキスト付)** を選択します。システムが 筆跡を表として認識します。また、表中のテキストも認識することができます。



Name	phone number
John	+886-918005761
Grace	+886-933486712
Sam	N/A
Floria	Home: +886-354887 12

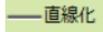
Name	phone number
John	-886-918005761
Grace	+886-933486712
Sam	-N/A
Floria	Home: +886-354887 12

7.2.4 連続線

筆跡を選択して、「ストローク定義設定」ボタンのドロップダウンメニューから **連続線** を選択します。システムが筆跡を 不規則な連続な線として認識します。

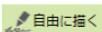


7.2.5 直線化

筆跡を選択して、「ストローク定義設定」ボタンのドロップダウンメニューから  を選択します。システムが選択した筆跡を認識し、直線化します。



7.2.6 自由描画

筆跡を選択し、「ストローク定義設定」ボタンのドロップダウンメニューから  を選択します。システムはオリジナルの図形として筆跡を維持します。





7.2.7 自動分析

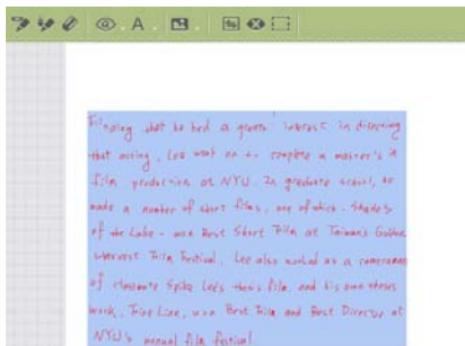
筆跡を選択し、「ストローク定義設定」ボタンのドロップダウンメニューから  **自動分析** をクリックします。システムが自動的に筆跡を分析して認識します。

注：認識された異なるオブジェクトのタイプは、ボックスの色によって区別されます。赤はテキスト、青は形状と連続線と直線、緑はテーブル、紫は自由描画です。

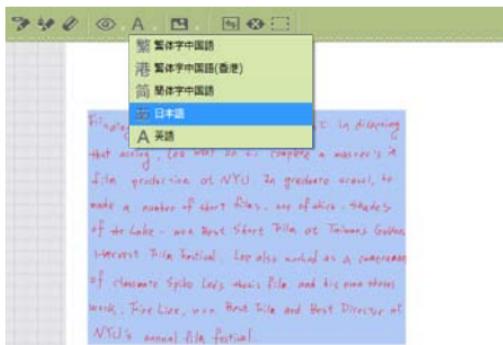
7.3 手書きの手順を認識

もし、認識モードで筆跡を認識したい場合、次の手順を参考にしてください：

1. マウスを長押ししながらドラッグして、認識したい筆跡を選択します。



2. A. アイコンを繰り返しクリックして認識言語を切り替えることもできます。もししくは、白い三角形のボタンをクリックして ドロップダウンメニューを開き、必要な認識言語を選択することができます。



ヒント：「ファイル」 / 「設定」 / 「認識」 から使用できる認識言語が確認できます。

注 1. 認識言語ボタンのアイコンは、インストールした OS の言語に応じて表示されます。

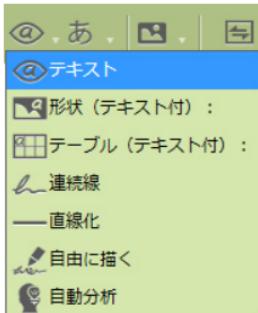
注 2. WorldNote は日本語、英語、繁体字中国語、簡体字中国語、香港文字、OS 言語と同じ言語を含む複数の言語認識を提供しています。

(現在、次の OS 言語がサポートされています：クロアチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、韓国語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、パーセルセゴビア、セゴビア、スペイン語、スウェーデン語)



注 3. 英語の認識と OS 言語の認識は、Windows8.1/ 8 (デスクトップモード) / 7 (Home Premium 以上) でのみ使用できます。言語の認識を使用するためには、Windows のローカル言語の OS をインストールする必要があります。

3. もし、手書きの認識タイプがテキストの場合、認識と編集ツールバーの  をクリックしてください。もしくは、ボタンの白い三角形をクリックしてドロップダウンメニューを開き、認識の種類を選択します。



4. 選択された筆跡がボックスで囲われている場合、すでに認識処理が完了しています。  をクリックすると、認識している全てのオブジェクトが表示されます。  クリックすると、この機能をキャンセルすることができます。

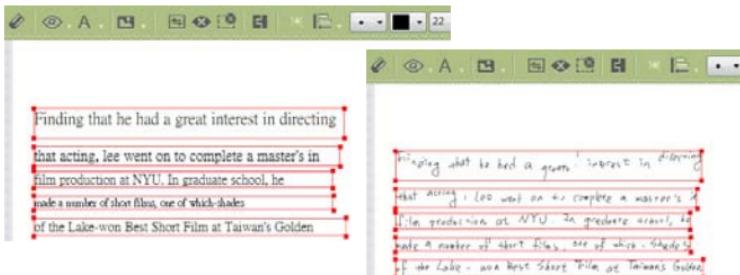


ヒント：右クリックして「順番」を選択するか、「編集」/「順番」からオブジェクトの表示順を変更できます。

- もし、認識結果が十分でない、もしくは、修正したい場合、テキストオブジェクトをダブルクリックして、テキストボックスタ内でのテキストを編集します。



- もし、認識したオブジェクトを比較したい場合は、オブジェクトを選択して、をクリックするか、右クリックして「手書きと認識結果の切り替え」を選択します。



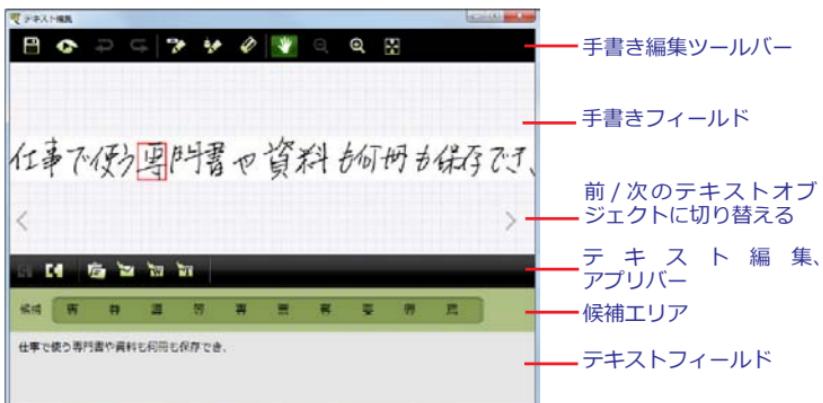
7. もし、認識結果を取り消したい場合、 をクリックするか、右クリックして「ストロークの定義をクリアする」を選択すると、認識したオブジェクトが、認識前の状態に戻ります。

第8章 手書き編集

筆跡を編集したい場合、認識したテキストオブジェクトを選択して  をクリックするか、右クリックして「テキスト編集」を選択します。

8.1 テキスト編集

テキストエディタ画面は、手書き編集ツールバー、筆跡フィールド、テキスト編集ツールバー、候補フィールドがあります。これらのツールとのインターフェースを統合することで、効率的にノートを編集し、共有することができます。





8.1.1 手書き編集ツールバー



保存	編集結果を保存します。
認識	手書きを認識します。
元に戻す	編集内容を1つ前の状態に戻します。
やり直す	編集内容をやり直します。
MyInkで記入	MyInkを使用して手書きを追加します。
マウスで記入	マウスを使用して手書きを追加します。
消しゴム	手書きを削除します(ストローク単位)。
ハンドツール	フィールドの画面をズーム、移動するには、このツールを使用します。
縮小	フィールドの画面を縮小します。
拡大	フィールドの画面を拡大します。
ページに合わせる	ページ全体が表示するように調整します。

ヒント : [Ctrl] キーを押しながらマウスのホイールを回すと拡大 / 縮小ができます。

8.1.2 手書きフィールド

手書きフィールドは、手書き編集ツールバーの下にあります。フィールド上の左右の矢印は、編集を高速化するために、簡単に次のオブジェクト、前のオブジェクトに表示を切り替えることができます。

8.1.3 テキスト編集、アプリバー



1	テキストの結合	認識した手書きを結合します。
2	テキストの分割	認識した手書きを分割します。
3	クリップボードに コピー	テキストをクリップボードにコピーします。
4	テキストをメール	認識したテキストをメールに添付 (.txt) します。
5	Word にエクスポート	認識したテキストを Word に貼り付けます。
6	テキストファイルに エクスポート	認識したテキストをメモ帳に貼り付けます。

8.1.4 候補エリア

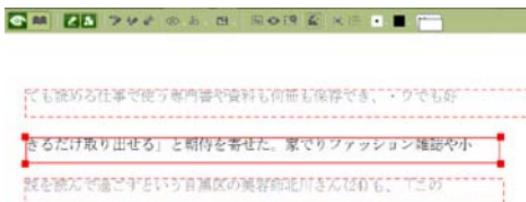
候補エリアには類似した文字の候補が表示されます。テキストフィールドの文字の後ろにカーソルを移動すると、候補が表示され、候補をクリックすると文字が置き換わります。



8.2 筆跡の編集手順

筆跡を編集して再認識したい場合、下記の手順を実施してください：

1. 編集または再認識したいテキストオブジェクトを選択します。



2.  をクリックしてテキストエディタ画面を開きます。手書きフィールドに筆跡、テキストフィールドに認識されたテキストが表示されます。



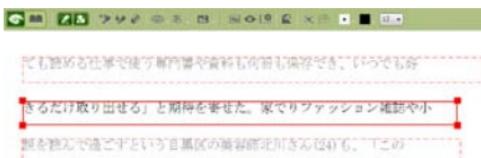
3. 手書きのフィールドのツールバーで筆跡を編集することができます。テキストでの認識間違いがある場合は、テキストフィールド内の文字を選択し、 または  をクリックして、間違った文字を結合したり、分割します。

注：テキストの認識言語が英語の場合は、「テキストの結合」、「テキスト分割」、「文字候補」は使用できません。

5. テキストフィールド内の認識間違いが解決できない場合、 をクリックして筆跡を消去したり、 または、 をクリックして手書きを書き直します。その後、 をクリックして再び筆跡を認識します。

注：再認識した場合、前の認識結果が置き換えられます。

6. 編集が完了したら  をクリックして編集結果を保存します。



8.3 筆跡を追加

編集モードでは、筆跡を追加したり、修正することができます。WorldNote で手書きを追加する場合、下記の方法があります：

- MyInk を使って記入

1.  をクリックすると、以下図のよう、画面上にテキストフィールドが表示されます：



2. テキストフィールドの四隅をドラッグして書き込み領域を調整します。書きたいの位置にテキストフィールドを移動することもできます。
3. MyInk のペン使用してノートを書き始めると、書いた筆跡が下図のようにテキストフィールドに表示されます。



4.  をクリックして書いた筆跡を確定します。 をクリックすると書いた筆跡を取り消します。
5. 書いた文字が間違ったり、気に入らない場合は、 をクリックしてストロークを削除したり、「元に戻す」 をクリックして1つ前の結果に戻します。ストロークをやり直すには、 をクリックしてください。
6. ノートを編集したら、 をクリックして保存します。もし、編集した内容を廃棄する場合は、直接  をクリックして、編集内容を破棄します。

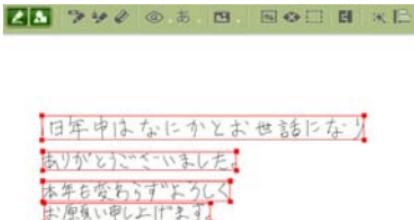
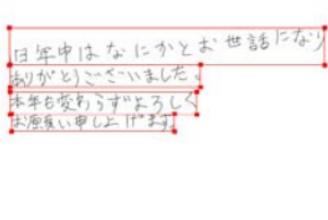
- マウスで記入

1.  をクリックしてマウスや、タブレットで記入します。
2. 書いた文字が間違ったり、気に入らない場合は、 をクリックしてストロークを削除したり、「元に戻す」を  クリックして1つ前の結果に戻します。ストロークをやり直すには、 をクリックしてください。
3. ノートを編集したら、 をクリックして保存します。もし、編集した内容を廃棄する場合は、直接  をクリックして、編集内容を破棄します。

第9章 ノートアプリケーション

9.1 再シーケンス

- 筆跡がオブジェクトとして認識した後、元の筆跡をエクスポートして保存する場合、 をクリックすることで筆跡の行と線を自動で調整できます。



-  ボタンをクリックした後、調整結果が表示され、筆跡の大きさを変更することができます。
- 変更を保存するには、「OK」をクリックします。

9.2 オブジェクトの整列

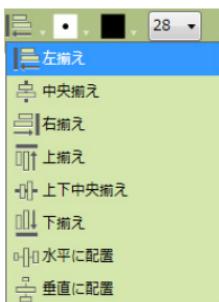
筆跡がオブジェクトとして認識された後、複数のオブジェクトを選択して位置を設定することができます。WorldNoteは8種類の方法が用意されています：垂直に配置、水平に配置、下揃え、中央揃え、上揃え、左揃え、右揃え、上下中央揃もし整列機能を使用する場合、下記の指示に従ってください。



1. 複数のオブジェクトを選択します。



2. [] の白い三角形のボタンをクリックして、整列オプションを開き、整列方法を選択します。

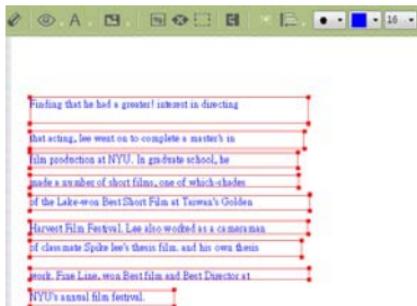


3. 整列結果を確認して「OK」をクリックすると、確定します。

Finishing what he had a greater interest in directing
 that acting, Lee went on to complete a master's of
 film production at NYU. In graduate school, he
 made a number of short films, one of which, *Shades
 of the Lake*, was a Best Short Film at Taiwan's Golden
 Harvest Film Festival. Lee also worked as a cameraman
 of classmate Spike Lee's thesis film, and his own thesis
 work, *Five Line*, won Best Film and Best Director at
 NYU's annual film festival.

9.3 テキストオブジェクトの属性の編集

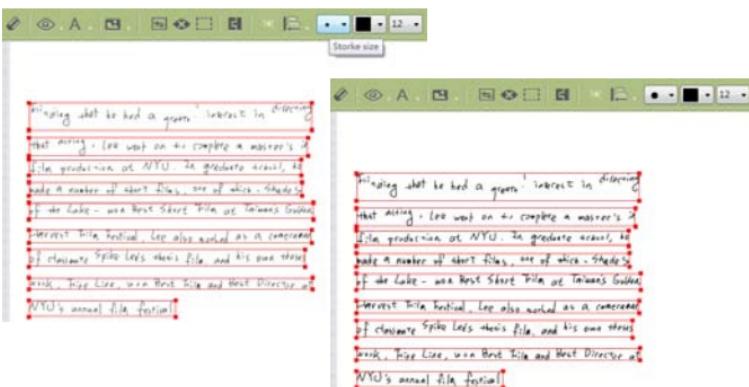
テキストオブジェクトを選択した時、ツールバーに「ストローク
 サイズ」、「セクションカラー」および「フォントサイズ」のボタン
 が表示され、使用することができます。



ヒント：複数のオブジェクトを選択して、一度に変更することができます。



注:「ストロークサイズ」の変更は筆跡のストロークに反映されますが、認識したテキストオブジェクトは変わりません。



9.4 テキスト / 画像の挿入

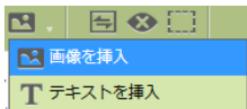
9.4.1 画像を挿入

ツールバーの をクリックして、挿入する画像を選択します。画像は表示されているノートページに挿入されます。もし、画像のサイズを変更する場合は、画像の四隅をドラッグすることで調整できます。画像の位置を移動する場合は、画像を選択してマウスでドラッグします。



9.4.2 テキストの入力

1. ノートにテキストを追加したい場合は、 の白い三角形をクリックしてドロップダウンメニューを開きます。次に、「テキストを挿入」を選択します。



2. マウスでドラッグしてテキストボックスを作成し、テキストを入力します。



第10章 エクスポート

WorldNote を使用して、さまざまなプラットフォームを介して他の人と共有することができます。ノートをエクスポートするためには多くの種類のファイル形式とオプションが用意されています。

10.1 ノートブックをエクスポート

エクスポートしたいノートブックを選択して、「エクスポート」オプションを選択します：

● PDF ファイルにエクスポート

1.  機能バーのをクリックするか、右クリックして「PDF にエクスポート」を選択、もしくは、「ファイル」/「エクスポート」/「PDF にエクスポート」を選択します。
2. 「参照」ボタンをクリックし、保存先、ファイル名を設定します。
3. 「OK」をクリックするとノートブックがエクスポートされます。

● Word ファイルにエクスポート

1. 機能バーの  をクリックするか、右クリックして「Word にエクスポート」を選択、もしくは、「ファイル」/「エクスポート」/「Word にエクスポート」を選択します。
2. 「参照」ボタンをクリックし、保存先、ファイル名を設定します。
3. 「OK」をクリックするとノートブックがエクスポートされます。

● 画像ファイルにエクスポート

1. 機能バーの  をクリックするか、右クリックして「画像にエクスポート」を選択、もしくは、「ファイル」/「エクスポート」/「画像にエクスポート」を選択します。
2. 「参照」ボタンをクリックし、保存先、ファイル名を設定します。
3. 「OK」をクリックするとノートブックがエクスポートされます。

● データファイルにエクスポート (*.wnxf 形式)

1. 機能バーの  をクリックするか、右クリックして「手書きデータにエクスポート」を選択、もしくは、「ファイル」/「エクスポート」/「手書きデータにエクスポート」を選択します。
2. 「参照」ボタンをクリックし、保存先、ファイル名を設定します。
3. 「OK」をクリックするとノートブックがエクスポートされます。

● E-Mail

1. 機能バーの  をクリックするか、右クリックして「E-mail」を選択、もしくは、「ファイル」/「E メール」を選択します。
2. E メールに添付するファイル形式を選択します：
「PDF ファイルをメールで送信」、「Word ファイルをメールで送信」、「画像をメールで送信」、「手書きデータをメールで送信」 (*.wnxf 形式)
3. 送信先のメールアドレスを入力し、メールを送信します。

10.2 ノートをエクスポート

ノートリストからエクスポートするノートを選択して、エクスポートしたいオプションを選択します：

● PDF/Word / 画像 / データファイル

1. 機能バーの  (PDF),  (Word),  (画像),  (データファイル) をクリックするか、右クリックで形式を選択します。
2. 「参照」ボタンをクリックし、保存先、ファイル名を設定します。
3. 「OK」をクリックするとノートがエクスポートされます。

● E-Mail

1. 機能バーの  をクリックするか、右クリックして「E-mail」を選択、もしくは、「ファイル」/「Eメール」を選択します。
2. Eメールに添付するファイル形式を選択します：
「PDFファイルをメールで送信」、「Wordファイルをメールで送信」、「画像をメールで送信」、「手書きデータをメールで送信」(*.wnxf 形式）
3. 送信先のメールアドレスを入力し、メールを送信します。

10.2 クラウドストレージにエクスポート

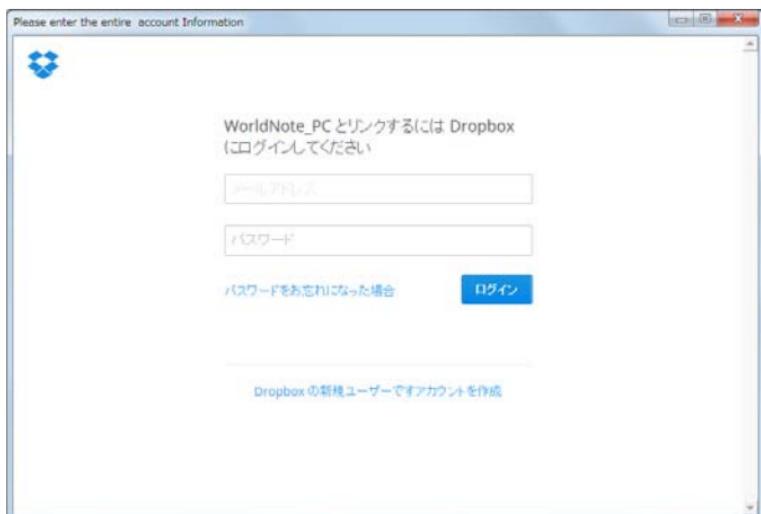
1. ノートブックのリストからエクスポートするか、ノートブックを開き任意のノートを選択して、「クラウドストレージにエクスポート」をクリックします。
2. WorldNoteはDropboxに接続することができます。また、「ファイル」/「設定」/「クラウドストレージ」から他のクラウドストレージサービスを選択できます。



3. クラウドストレージへのエクスポートボタンをクリックした後、エクスポートするファイルの種類を選択し、「次へ」をクリックします。



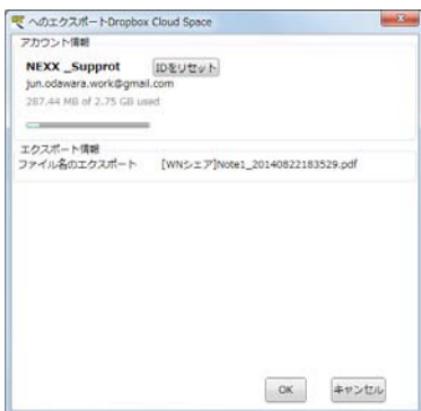
4. 初めて Dropbox にリンクする場合、まず、ログインページが表示されます。DropBox のアカウント、パスワードを入力してログインした後、WorldNote が DropBox にアクセスする為の許可が求められますので、「許可」をクリックします。





- アカウント情報、エクスポートするファイルの情報が表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてエクスポートを開始します。エクスポートが完了するとメッセージが表示されます。

ヒント：「IDをリセット」をクリックすると、DropBoxのリンクが解除され、別のDropBoxアカウントにリンクしてエクスポートすることができます。



WorldNote PC v2.1 ユーザーマニュアル

Penpower Technology Ltd.,

日本語版 ver 1.0 リリース 2014-08